

経営比較分析表（令和5年度決算）

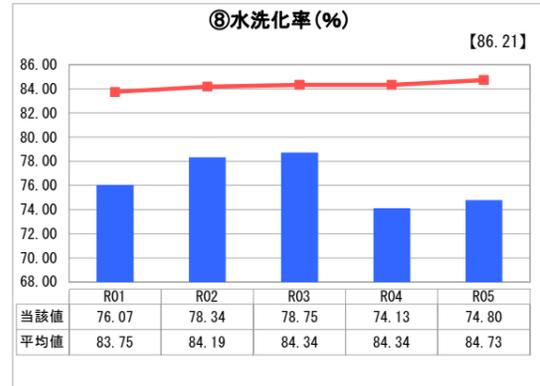
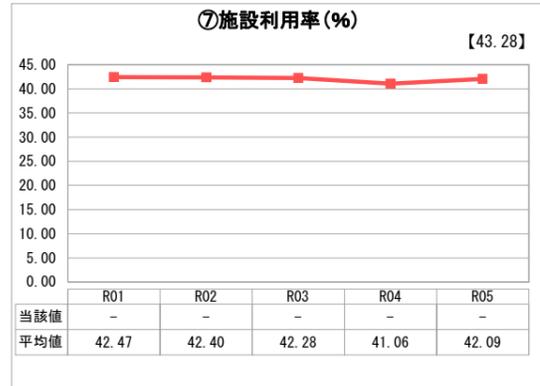
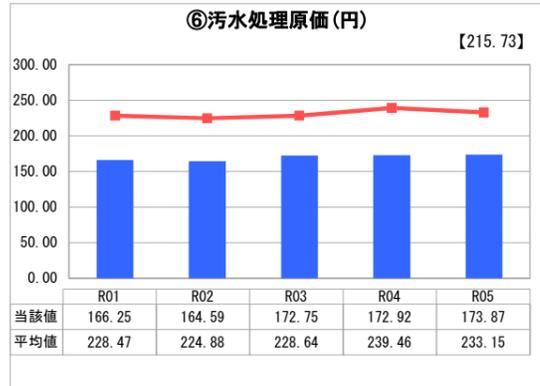
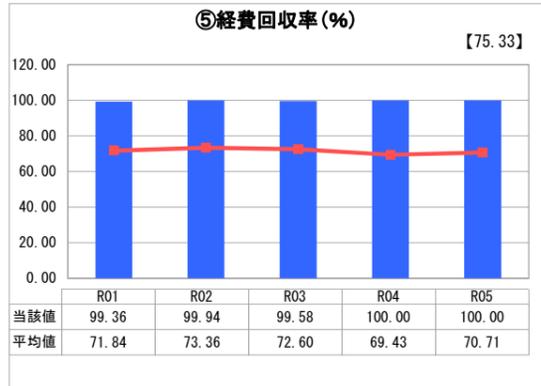
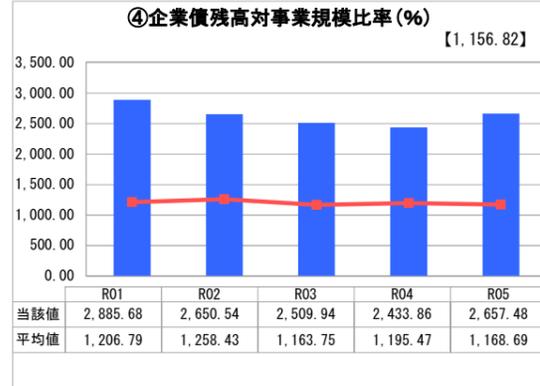
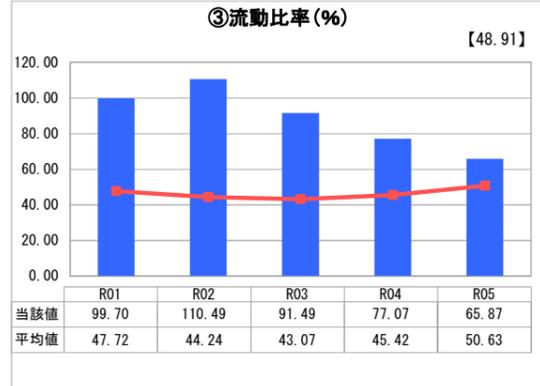
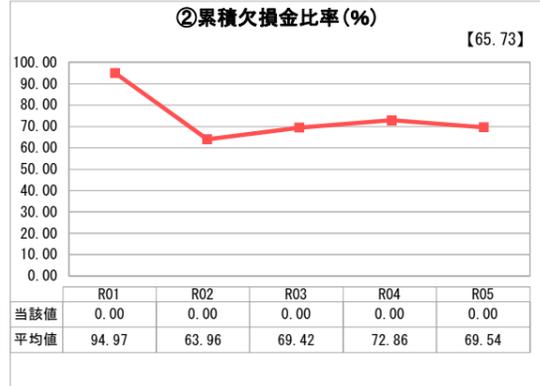
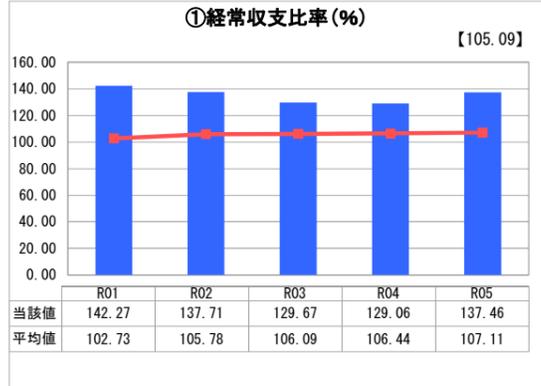
福岡県 福津市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	55.55	4.44	84.24	3,256

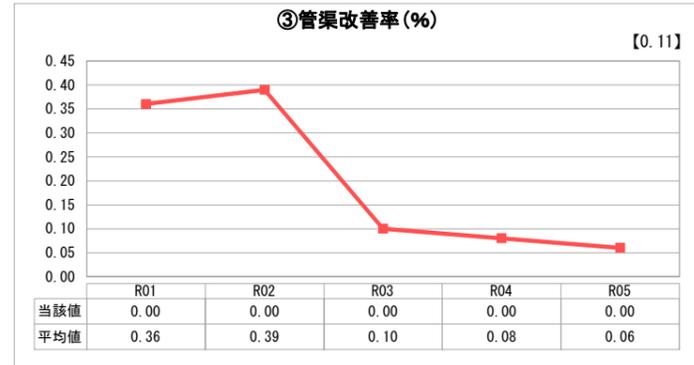
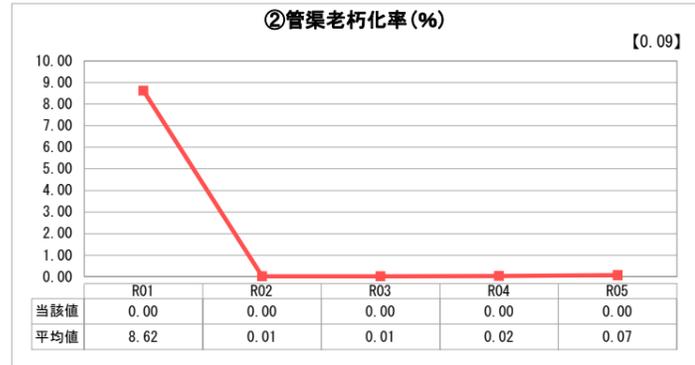
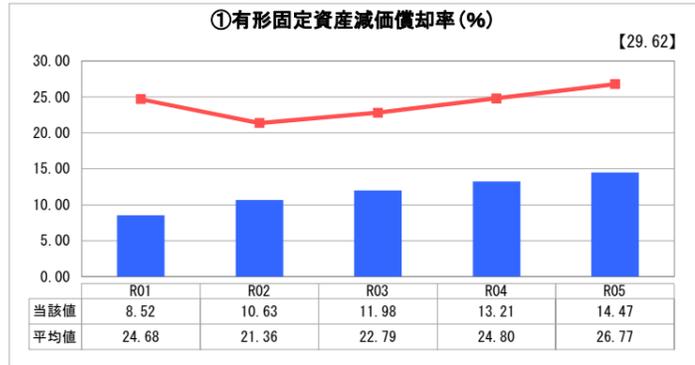
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
68,793	52.76	1,303.89
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,051	1.08	2,825.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

特定環境保全公共下水道事業は、公共下水道事業と同じ会計上で経営をしています。従って、基本的な分析及び今後の改善に向けた取り組みは、公共下水道事業と同様です。

① 経常収支比率
人口の増加や水洗化率の上昇に伴い使用料収入が増加しており、137.46%となっています。ただし、経常収益の中に含まれている基準外繰入金を除いて算出した場合は100%を下回り、繰入金に依存した経営状況となっています。

③ 流動比率
類似団体平均は上回っていますが、100%に至っていないため、資金の確保に努める必要があります。

④ 企業債残高対事業規模比率
集中的に整備を行っていることから、類似団体の平均値と比較しても、高い状況です。

⑤ 経費回収率
今後も100%以上を維持できるように収入の確保と経費の削減に取り組む必要があります。

⑧ 水洗化率
当該区域における管渠整備を集中的に進めており、処理区域内人口が急激に増加したことから、一時的に水洗化率が減少しています。類似団体の平均値を下回っていることもあり、今後は継続促進に向けた努力が必要です。

2. 老朽化の状況について

津屋崎処理区内の特環地区は、平成14年3月に供用を開始しました。また、福岡処理区内の特環地区における管渠整備を平成25年度から開始し、令和5年度で完了しました。現在耐用年数を経過している管渠はありません。今後は使用年数の経過に伴い老朽化が進行すると考えられるため、ストックマネジメント計画に基づき、管渠更新の必要性を適宜判断していきます。

全体総括

特定環境保全公共下水道事業は、令和5年度で区域内の整備が完了しました。今後の使用料収入については、人口の増加や下水道接続に伴い、微増していくと見込んでいます。一方で、集中的な整備の財源として借り入れた企業債の償還が増加する見込みであることから、経営状況は厳しくなると思われます。

公共下水道事業と同様に、一般会計からの繰入金に依存した経営状況であることも踏まえ、令和5年度に経営戦略を改定し、今後の収入の確保、経費の削減、施設の長寿命化の在り方について検討し、自立した経営に向けた方針を策定しました。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。